

帯広厚生病院で直接作用型経口抗凝固薬を服用されたことがある患者様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

研究課題名：

直接作用型経口抗凝固薬の初回投与時における用量に関する調査

研究責任者氏名・所属：

竹部 憲太朗（帯広厚生病院 薬剤部）

研究の目的：

帯広厚生病院（以下当院）で初めて直接作用型経口抗凝固薬（DOAC）が処方された患者さんを対象に、各 DOAC の添付文書に準じた用量であるかについて調査することを目的とします。

研究の方法：

・対象患者様および対象データ

2023年10月1日から2024年9月30日までの期間に当院にて初めて、アピキサバン錠（エリキュース®錠）、エドキサバントシル酸塩水和物錠（リクシアナ®錠）、リバーロキサバン錠（イグザレルト®錠）のいずれかが処方された患者さん。

・利用する情報

年齢、性別、体重、診療科、出血既往の有無、非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の併用の有無、抗血小板薬の併用の有無、P糖タンパク質阻害薬の併用の有無、血清クレアチニン値、DOACの処方開始日・用法用量等

この研究について、研究計画や関係する資料など詳細情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、ご住所など、患者さんを特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は、学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に情報を利用することをご了承いただけない場合は、以下にご連絡ください。

○[連絡先・相談窓口]

北海道帯広市西14条南10丁目1番地 （電話：0155-65-0101）

帯広厚生病院 薬剤部 竹部 憲太朗